

京都産業大学 総合生命科学部 バイオフィォーラム 2014

【講師】 鷺谷 いづみ氏
(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)



【演題】

サクラソウとマルハナバチの保全生態学

保全生態学は、「生物多様性の保全と持続可能な利用」という社会的な目標に、生態学および関連分野における分析・評価アプローチと生物学に広く蓄積された知見をもって寄与する応用科学である。絶滅危惧種の保全、外来生物の対策、自然再生など、生物多様性の保全のための実践は、科学的な知見をもとに多様な主体の参加によって進められる。講義では、サクラソウとマルハナバチをめぐる保全生態学の研究、および保全活動における科学と社会の相互作用について、具体的な事例を取り上げながら紹介する。サクラソウは、さとやま（里地・里山）を代表する植物なので、さとやまの生物多様性の成因・保全の課題についても触れる。

日時：2014年6月19日（木）16:00～17:30

会場：京都産業大学15号館1階15102セミナー室

お問合せ

京都市北区上賀茂本山

京都産業大学 総合生命科学部事務室 Tel.075-705-1466

交通

※キャンパス内に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

地下鉄「国際会館駅」下車→京都バス（40系統）で京都産業大学前下車

地下鉄「北大路駅」下車→市バス（北3号系統）または京都バスで京都産大前下車

主催

京都産業大学 総合生命科学部



事前申込不要・入場無料